

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第179号	氏名	池田理恵
学位審査委員	主査 中島憲一郎 副査 植田弘師 副査 黒田直敬		
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は中薬材、冬虫夏草の核酸成分について、分析化学及び行動薬理学的立場から検討するもので、その目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法 核酸関連化合物の簡便なUV検出HPLC法を開発し、それを天然の冬虫夏草、人工培養品及び健康食品の定量に適用する手法は目的にかなっている。また、定量結果を冬虫夏草製品の品質管理に適用するための方法論を展開した点も妥当である。さらに、主成分のアデノシンについてモルヒネの退薬症候に対する影響を行動薬理学的に評価した点も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価 上記手法で開発した核酸成分の分析法は簡便で高感度な方法であり、冬虫夏草製品の定量に十分適用可能であった。また、品質管理に用いる手法として主要核酸成分の含有比率を利用する方法は、天然品と人工培養品の区別を明確にできた。さらに、アデノシンがモルヒネ退薬症候に有効であることを明らかにした点や扁桃体のドパミンレベルに影響を及ぼすことを明らかにした点は冬虫夏草に関する薬学研究的発展に大いに寄与するものである。</p>			
<p>以上のように本論文は薬学研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士(臨床薬学)の学位に値するものと判断した。</p>			